



木村 素子
水曜会
(70分)



(仮称) 子ども未来館基本計画は

問 ①コンテンツや特徴は。
②整備の候補地選定の考え方は。

答 ①STEAM教育と歴史の視点を取り入れたプログラムを提供することで、子どもたちの知的好奇心を喚起し、未来に向けて挑戦する心を育む施設をめざしている。展示や体験を通じて子どもたちが自ら発見し、創造に取り組む。その成果を館内外で発表し、そのことがまた新たな発見や未来の夢につながっていく。こうしたサイクルにより、子どもたちの課題発見・解決能力の向上や自己肯定感の醸成につなげようというのが大きな特徴の一つと考える。

②検討委員会での意見や市民アンケートの結果を踏まえ、高いアクセシビリティ、近隣施設との関係、十分な規模といった視点で検討している。最終的な決定は、今年度予定している民間活力導入可能性調査を踏まえ、各専門分野の意見も聞いた上で判断する。



基本計画の検討委員会の様子



奥 陽治
公明党
(45分)



高齢者支援は

問 ①特殊詐欺の被害状況と対策は。
②見守りの対策は。

答 ①被害件数、被害額は増加傾向にある。昨年6月から全員が65歳以上の世帯を対象に防犯機能付き電話機等の購入費用の半額を補助する事業を実施し、一定の効果がみられる。引き続き、関係団体と連携し特殊詐欺被害を未然に防ぐための注意喚起などを行う。

②昨年度、緊急通報体制整備事業を見直し、見守りセンサーの導入、24時間体制のコールセンターとの連動等の体制強化を図った。

認知症サポーターは

問 本市での役割は。

答 認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者で、日常的な声かけや見守り、認知症カフェのサポートや高齢者施設内でのボランティア活動を行っている。



認知症サポーターのカード



宮本 宏樹
公明党
(45分)



書かない・行かない窓口は

問 取り組みの現状と今後の展望は。

答 書かない窓口システムの導入で、2025年度には対応可能な手続きが現在の8つから約200に拡充する見込みである。行かない窓口では、住民票の写しや印鑑証明書、税証明などのコンビニ交付サービスを運用している。また、来年度末までに原本添付や聞き取りが不要な約800の手続き全てをオンライン化する予定である。今後も市役所の窓口に行かなくても可能な行政手続きを拡充する。

※チャットGPT等の生成AIは



問 活用の受け止めと対策は。

答 文章の作成等が可能で業務の大幅な効率化が期待できる一方、情報漏えい等のリスクが考えられるため活用策の検討と合わせて安全な利用のためのルールづくりを目標とした庁内の研究チームを立ち上げた。

※STEAM教育：科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの領域での学びを、実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習